

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与		4		作成日		30年 6月 29日		
事務事業名		有害鳥獣等駆除事業						シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	4 快適なまち						課名	産業課		係名	産業振興係
		4-1 環境と共生するまちをつくる							シート作成者			
	施策	4-1-2 自然環境の保全						予算費目	会計		一般	
									款		6	
主要施策	②環境保全活動の促進						項		1			
							目		3			
個別計画名												
住民との関わり		その他										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）							
	住民				有害鳥獣の捕獲に係る許可申請手続きや住民への注意喚起等を併せて行うなど、有害鳥獣に対する対策の強化を図ります。							
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）				有害鳥獣捕獲許認可事務・・・有害鳥獣捕獲許可申請及び捕獲許可決定の手続き ※自治会長及び猟友会（許可権者）と協議し、地域周辺の状況を把握したうえで、檻の設置箇所の特定、捕獲開始します。 有害鳥獣対応・・・出没情報による現場確認や住民への注意喚起（回覧）、いなべ警察署への協力要請、教育委員会との連携（児童や生徒への注意喚起）							
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度 ~ 平成 年度（年間） <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし										
根拠法令・要綱等		鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律 三重県有害鳥獣捕獲許可事務取扱要領										
		平成28年度（決算）		平成29年度（決算）		平成30年度（予算）						
全体事業費（千円）A+B		0		0		1,035						
財源内訳	国庫支出金		0		0		0					
	県支出金		0		0		0					
	地方債		0		0		0					
	その他特定財源		0		0		0					
	一般財源		0		0		309					
直接事業費（千円）A		0		0		309						
人件費（千円）B		0		0		726						
内訳	一般職員（人・千円）		0.00 人 0		0.00 人 0		0.11 人 726					
	臨時職員（人・千円）		人 0		人 0		人 0					
成果指標	成果指標名			単位	29年度		30年度	31年度				
					目標	実績	（目標）	（目標）				
	①											
	②											
③												
説明		事業の性質上、指標設定は馴染みません。										

事業名		有害鳥獣等駆除事業		シート作成課		産業課		
一次評価者		産業課長		二次評価者		建設部長		
評価項目の説明	チェック項目			一次	二次	一次の評価又は説明		
	必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	田畑や住居地においての被害等を防止することができます。	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	新たな二次的被害の防止に繋がります。	
	達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	農作物等への甚大な被害はありません。	
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域ぐるみによる組織的な追い払い等の活動が最も有効手段であると思われます。	
本事務事業の実施適切性の説明								
近年、気象状況の変化や道路網の整備に伴う住環境の変化により、本町に近隣するいなべ市、桑名市、四日市市の行政界付近を中心に「サルやイノシシ、タヌキ」などの小動物が田畑や住居地等へ出没する通報が寄せられています。現在、甚大な被害はなく出没情報のみのため、産業課職員で対応しています。また、人的被害を及ぼす危険性があると判断した場合は、いなべ警察署への協力要請、状況により猟友会に協力をいただき、捕獲檻の設置等の対策を講じています。								
一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	3	4	⁽⁸⁾ B	⁸ ⁷ A	
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	⁽⁷⁾ D	⁽⁶⁾ C ⁽⁸⁾	
今後の改革・改善目標	田畑や住居地における出没について、集落全体での取り組みや各集落の班体制ごとの取り組みなど、地域ぐるみでの活動・対策を推進する必要があります。							
二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	3	4	⁽⁸⁾ B	⁸ ⁷ A	
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	⁽⁷⁾ D	⁽⁶⁾ C ⁽⁸⁾	
コメント	有害鳥獣の出没情報に対する駆除対策の拡充を図る必要があります。しかしながら、即効性のある対応が難しく、抜本的な解決策がないのが現状です。							
二次評価に対する課の考え方								
参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	4 住民（利用者）も運営等に参画していく				